

縣報 第六百二十四號 明治卅九年十二月廿一日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第六十九號

特別保護建造物修理規程左ノ通り相定ム

明治三十九年十二月十八日

和歌山縣知事 伯野 清 樓 家 敷

特別保護建造物修理規程

第一條 特別保護建造物ノ修理ハ舊觀ヲ保存スルヲ主トシ保存上特ニ必要ト認ムル時ノ外模様替ヲ爲スコトヲ許サス古用材古金具ハ可成修葺ヲ加ヘ之ヲ使用スヘシ

第二條 修理工事ハ社寺ノ擔當トス但知事ノ認可ヲ經テ工事ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ請負ハシムルコトヲ得

第三條 請負ハ指名請負トシ請負人ハ身元確實ニシテ五ヶ年以上建築工事ニ従事シ且ツ社寺ノ修理改築ニ經驗アル者ニ限ル

第四條 請負ノ認可ヲ請フ時ハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 工費請負見積書
- 一 工事請負契約書案
- 一 居住地市町村長ノ証明シタル受負人資格證明書

縣報第六百廿四號

明治三十九年十二月廿一日

第三種郵便物認可

第五條 社寺ニ於テ修理工事ニ着手セントスルトキハ豫メ工事執行規程及同會計規程ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クヘシ工事ノ請負ヲ命ゼタルトキ亦同シ

第六條 修理工事施行中ハ當該工事ニ經驗アル者一人以上ヲ雇入レ工場ニ在テ工事ノ監督ヲ爲サシムヘシ但工事監督者ヲ雇ヒ入レントスルトキハ本人履歷書ヲ添ヘ豫メ知事ノ認可ヲ受クヘシ
第七條 修理工事執行中當該社寺ハ毎月末工事狀況ヲ知事ニ報告スヘシ但工事ヲ縣廳ニ委託シタルトキハ此ノ限ニアラス

工事ニ關スル諸般ノ願届其ノ他書類ニシテ知事ニ差出スヘキモノハ總テ監督員ノ連署ヲ要ス
第八條 社寺ニ於テ自ラ其修理工事ヲ擔當シ能ハサルトキ又ハ請負ヲ命スヘキ適任者ヲ得サルトキ若クハ知事ニ於テ必要ヲ認ムルトキハ工事ノ全部若クハ一部ヲ縣廳ニ委託セシム

第九條 工事ヲ縣廳ニ委託シタルトキハ左記書式ニ準テ委託書ヲ差出スヘシ
第十條 工費ハ知事ニ於テ種類數量及單價其他計算ノ基ク所ヲ明記セル各債主ノ請求書ヲ添付シテ求スヘシ
第十一條 社寺ハ工事着手前細則（古社寺保存法施行細則以下皆全）第二條ニ依ル當該社寺負擔額ヲ納付スヘシ但特別ノ事情アルモノニ限り之ヲ延期シ又ハ數回ニ納付セシムルコトアルヘシ

第十二條 修理工事ニシテ細則第三條第一項ノ手續ヲ要スルトキハ當該社寺ニ於テ之ヲ履行スヘシ但縣廳ニ於テ委託ヲ受ケタル工事ニアリテハ豫メ其ノ事由及變更設計仕様等ヲ當該社寺ニ通告スヘシ

第十三條 修理工事竣成セハ當該社寺ハ速ニ細則第四條ノ手續ヲ履行スヘシ但縣廳ニ於テ工事ヲ

施行シタルトキハ豫メ其ノ精算ヲ該社寺ニ通告スヘシ

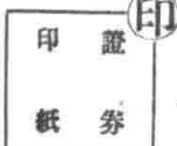
附 則

第十四條 本規程ニ依リ縣廳ニ差出スヘキ文書ハ總テ所轄町村役場及郡役所ヲ經由スヘシ
書 式

委 託 書

郡市町村大字何々

社格宗派名 何々社寺



右社寺何々(建物名稱)修理工事施行ノ義ハ明治三十九年和歌山縣令第何號特別保護建造物修理規程第八條ニ依リ御廳へ委託仕候就テハ工費全額ハ事業完成ニ至ル迄仕拂ヲ要スル都度事業所屬ノ用途ニ仕拂執行相成候段當社寺ニ於テ何等異議無之候仍テ委託書差上候也
明治 年 月 日

右 社 寺

神職住職 何 某 印

氏子檀信徒總代

何 某 印

何 某 印

何 某 印

知 事 宛

○和歌山縣令第七十號

公園管理規則縣會ノ議決ヲ經左ノ通相定ム

但明治三十九年七月告示第八十八號同三十二年三月告示第二十二號同三十四年三月告示第六十四號ハ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

明治三十九年十二月十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 榎 家 敬

公園管理規則

第一條 本則ニ於テ公園ト稱スルハ岡公園、和歌山公園、和歌公園ヲ指稱ス

第二條 公園ニ關スル經濟ハ各公園特別會計トス

第三條 公園ハ慣行ニ依ルモノ、外其性質ニ反シテ使用セシムルヲ得ス
但其用法ニ於テ公園經營上支障ナシト認ムルモノハ此限ニアラス

第四條 公園ノ土地水面ヲ區劃シ又ハ建物等ヲ特ニ使用セントスル者ハ知事ノ許可ヲ受クヘレ

第五條 前條ニ依ル土地水面又ハ建物等ノ使用期限ハ其用法ヲ斟酌シ五箇年以内ニ於テ知事之ヲ定ム但期限滿了後更新スル事ヲ妨ケス

第六條 土地水面又ハ建物等ノ使用許可ヲ受ケタルモノハ之レカ用法ヲ變更セントスルトキハ更ニ許可ヲ受クヘレ

第七條 土地建物等ノ使用者ニ於テ其土地建物ニ定着スル工作物ヲ設ケ又ハ之レカ形狀物質ニ變更ヲ生スヘキ行爲ヲキントスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

使用權消滅ノ際ハ十日以内ニ原狀ニ回復スヘシ
但使用者ノ申出ニ依リ之レカ義務ヲ免除スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ縣ハ無償ニテ定着物

ノ所有權ヲ取得ス

第八條 使用者ニ於テ前條第二項ノ期間内ニ原狀ニ回復セザルトキハ其工作物ノ所有權ヲ拋棄シタルモノト見做シ縣ニ於テ之レヲ取得シ若ハ縣ノ命シタル第三者ノ代執行費用ヲ負担セシムルコトアルヘレ

第九條 土地建物ノ使用者ハ善良ナル注意ヲ以テ之レヲ保管スヘシ若シ故意又ハ過失ニ因リ損害ヲ生セシメタルトキハ縣ノ選擇ニ從ヒ原狀回復又ハ損害賠償ノ責ニ任セシムルモノトス但義務ノ履行ニ付テハ第七條第二項及第八條ノ規定ヲ準用ス

第十條 建物使用者ハ自費ヲ以テ使用及保存ニ必要ナル修繕ヲナスコトヲ要ス

第十一條 縣ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ使用ヲ禁シ又ハ制限スル事アルヘシ

前項ノ場合ニ於テ使用者ハ損害ヲ被ルコトアルモ縣ハ賠償ノ責ニ任セス

第十二條 左ノ場合ニ於テハ何時ニテモ使用許可ヲ取消スコトヲ得

一 第六條第七條第一項ニ違背シタルトキ

二 使用料ヲ滞納シタルトキ

三 風致ヲ損シ若ハ風紀ヲ紊スカ如キ虞アリト認ムヘキ行爲アリタルトキ

四 縣ニ於テ必要ト認メ命令シタル事項ヲ遵守セザルトキ

第十三條 本則施行ニ關シ必要ナル規定ハ知事之レヲ定ム

第十四條 従前土地又ハ建物等ノ使用者ハ本則施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ更ニ許可ヲ受クヘレ

第十五條 本則ハ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

○和歌山縣令第七十一號

公園管理規則施行細則左之通定メ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

明治三十九年十二月十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 藤 家 敷

公園管理規則施行細則

第一條 公園規則第四條ニ依リ公園内土地建物等ノ使用許可ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ニ準シ使用ノ目的其區域及工作物ノ模様圖面并ニ仕様書ヲ添ヘ願出スヘシ

第二條 公園内ニ於テ建設スル家屋ニハ橋壁ヲ設クル事ヲ得ス若レ己ヲ得サル場合ニ於テハ其事由ヲ具シ許可ヲ受クヘシ

第三條 使用者ハ其費用ヲ以テ使用區域ハ勿論其周圍ノ掃除ヲ爲シ常ニ清潔ニ保持スヘシ

第四條 公園使用ノ許可ヲ得タルモノニシテ其許可ノ日ヨリ三十日以内ニ經營ニ着手セス又ハ着手ノ日ヨリ一年以内ニ成功セサルモノハ使用許可ノ効力ヲ失フモノトス但特別ノ事情アルモノハホテ豫メ許可ヲ得タル場合ハ此限リニ非ス

第五條 許可者クハ命令ヲ受ケ工作物ノ新設増設變更修繕等ヲ爲スホハ五日以前ニ落成ノ上ハ五日以内ニ其旨届出ヘシ

第六條 使用區域内在來ノ竹本草花等ハ是ヲ保護シ手入ヲナス外伐採移植セントスルハ許可ヲ受クヘシ

第七條 使用物ハ之ヲ他人ニ轉貸スルヲ得ス

第八條 使用區域内ニハ使用者其家族及雇人ノ外宿泊セシムルヲ得ス但旅館ハ此限ニ非ス

第九條 使用區域内外ヲ問ハス溝渠ヲ壅塞ニ汚泥ヲ停滯セシムルヲ得ス

縣報第六百廿四號

明治三十九年十二月廿一日

第三種郵便物認可

四

第十條 使用許可期間内ニ土地建物ヲ返還セントスル者ハ第二號書式ニ依リ願出認可ヲ受クヘシ

第十一條 私有工作物ノ所有權ヲ移轉シタル時ハ第三號書式ニ依リ使用權ノ返換ヲ願出ヘシ家督相續ノ場合ニ於テハ相續者ヨリ届出ルヲ要ス

第十二條 公園使用者ニ於テ本籍住所ヲ移轉シタル時ハ三日以内ニ届出ヲナスヘシ

第十三條 公園内ニ於テ左ノ行爲ヲ禁止ス

一 魚鳥及鈴虫、松虫ヲ殺傷若クハ捕獲スル事

一 樹木及石垣ニ上リ若クハ塵芥瓦礫ノ類及汚穢物ヲ投棄スル事

一 草木及果實ヲ採取シ又ハ土石ヲ探掘シ又ハ枝葉ヲ拾收スル事

一 猥リニ焚火ヲナシ大鼓ヲ演シ其他危險ノ遊戯ヲナス事

一 他人ノ遊歩ヲ妨害スル事

一 諸品ヲ行商スル事但園内居住者ニ賣込ヲナスハ此限リニ非ス

一 制禁ノ立札アル場所ヘ立寄リ若ハ通行スル事

一 指定場所外ニ車ヲ置ク事

一 前各號ノ外風致ヲ害スル行爲アル事

第十四條 知事ニ提出スヘキ願届ハ凡テ公園取締ヲ經由スヘシ

(一號書式)

公園使用願

(本籍) 何府何郡何町何番地

當時何府何郡何町何番地 (寄留) 現籍
 族籍職業 何 某
 私儀今般縣下何公園内別紙繪圖面ノ箇所何坪 (一家屋又) 取設ク明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄使用致度御許可ノ上
 何日迄 (茶店又) 營業仕度何々ノ爲明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄使用致度御許可ノ上
 ハ園内御規則遵守可致ハ勿論使用料ノ義ハ御指揮ノ通リ無相違上納可致候間使用御許可被下度圖
 面并ニ仕様式相添ヘ此段奉願候也
 明治何年何月何日

右

何 某印

知事宛
 (貳號書式)

返地届

私儀使用御許可相成候何公園内池所何坪建物何々何坪別紙圖面朱記ノ箇所今般使用廢シ候ニ付
 返還仕度候間御認可相成度此段相願候也
 明治 年 月 日

右使用人 何 某印

知事宛
 (參號書式)
 公園使用權移轉願

本籍何府何郡何町何番地
 當時何府何郡何町何番地 (寄留) 現住
 族籍職業 何 某 (買入人ヲ記ス)
 私儀今般縣下何公園使用地區域内何某所有建物買受ケ候間同人使用期限中繼續 (茶店又) 營業
 仕度御許可ノ上ハ御規則遵守可致ハ勿論使用料ノ義ハ御指揮ノ通リ上納可致候間使用權移轉ノ義
 御許可相成度別紙許可証書相添此段奉願候也
 年 月 日

右

買受人 何 某印
 賣渡人 何 某印

知事宛

○和歌山縣告示第百六十八號

和歌山縣山野植林費補助規則別冊ノ通相定メ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

明治三十七年六月告示第百六十二號和歌山縣公有山林造林費補助規程ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス但該規程ニ依リ既ニ補助許可ノ指令ヲ得タルモノニ限リ其手續ノ終了スル迄尙其ノ効力ヲ有ス

明治三十九年十二月十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 權 家 敏

和歌山縣山野植林費補助規則

第一條 本則ノ規程ニ依リ山野ニ植林スルモノハ審査ノ上相當ノ補助金ヲ交付ス

第二條 本則ニ依リテ交付スル補助金ハ毎年金壹萬圓以內トス

第三條 補助金ノ交付ヲ受ケントスルモノハ申請書ニ左ノ書類ヲ添付シテ前年五月三十日マテニ

當處ニ差出スヘシ

一 植栽地ノ見取圖及實測圖

但實測爲シ難キトキハ其ノ事由書

二 營林及伐木其ノ他保護ニ關スル施案

三 公共團體ニ係ルモノハ經費ノ收地豫算決議書

四 當地ナルトキハ其ノ地上權設定ニ關スル豫定契約書ノ寫

第四條 本則ニ據リ補助金ヲ交付スヘキ種類ハ左ノ六種トス

一 保安林ニ編入シ若クハ小面積コシテ保安林ニ編入セサルモノニ植林ヲ命令シタルモノ

二 郡市町村又ハ學校ノ基本財産造成ノ目的ヲ以テ其郡市町村所有ノ草山(禿山モ含ム)以下全クニ植林スルモノ

縣報第百二十四號

明治卅九年十二月廿一日

第三種郵便物認可

六

三 前項ノ目的ヲ以テ其ノ郡市町村內大字又ハ一部ノ所有ニ屬スル草山ニ植林スルモノ

四 組合町村ノ所有ニ屬スル草山ニ其ノ所有者若クハ所有者ノ内或ハ町村又ハ大字ノ經營ニ依リ植林スルモノ

五 大字又ハ一部ノ所有ニ屬スル草山ニ其ノ所有者ノ經營ヲ以テ植林スルモノ

六 郡市町村大字又ハ一部ノ所有ニ屬スル草山ニ個人又ハ組合ヲ以テ植林スルモノ

第五條 植樹スヘキ樹苗ノ員數ハ一町步三千本以上壹萬本以內トス

但山楡(ハゲレハリ)ハ三千本以上壹萬五千本以內トス

第六條 補助ノ申請ニ對シテハ當廳吏員ヲシテ實地調査セシメタル上懸テ適當ト認ムルモノニ限リ縣費豫算決定ノ上之ヲ許可ス

前項調査ノ際地形地質若クハ樹種ニ依リ設計又ハ植林方法ニシテ不適當ト認ムルトキハ出張吏員ニ於テ之カ變更ヲ指示スルコトアルヘシ

第七條 申請者多數ニシテ其ノ年度ノ豫算ニテ全部許可ナシ難キ場合ニハ第四條各號ノ順序ニ依リ尙其ノ一號中全部ニ及ヒ難キトキハ實地ノ狀況ニ依リ許可ヲ定ム

第八條 補助金ハ其ノ植樹シタル年ノ七月以後ニ於テ適宜ノ方法ヲ以テ生育樹數ヲ檢定シ其ノ生育樹數ニ應レ之ヲ交付ス

一、第四條第壹號及第二號ニ係ルモノ

針葉樹 百本ニ付 參拾五錢以內

杉 百本ニ付 四拾錢以內

檜 百本ニ付 四拾錢以內

松 潤葉樹

百本ニ付

參拾錢以内

ク ス

百本ニ付

五拾錢以内

ハケレバリ

百本ニ付

參拾錢以内

ケヤキ

ヤマモイ

モチノキ

クルミ

イチカシ

クヌギ

ク

カシ

ナ

カ

ウバ

百本ニ付

八拾錢以内

二、第四條第三號及第四號ニ係ルモノ
針葉樹

百本ニ付

貳拾五錢以内

百本ニ付

參拾五錢以内

松 潤葉樹

百本ニ付

貳拾錢以内

ク ス

百本ニ付

四拾錢以内

ハケシバリ

百本ニ付

貳拾錢以内

ケヤキ

ヤマモイ

モチノキ

クルミ

イチカシ

クヌギ

ク

カシ

ナ

カ

ウバ

百本ニ付

七拾錢以内

三、第四條第五號ニ係ルモノ
針葉樹

杉

檜

百本ニ付

貳拾錢以内

百本ニ付

參拾錢以内

四、第四條第六號ニ係ルモノ
針葉樹

松	杉	檜	ウバメ	クハメ	カレハ	ナラ	クハ	クハ	クハ	イナカシ	クハ	モク	ヤマモ	クハ	ハク	針葉樹	松
百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	拾五錢以内	拾五錢以内
																六拾錢以内	六拾錢以内

松	杉	檜	ウバメ	クハメ	カレハ	ナラ	クハ	クハ	クハ	イナカシ	クハ	モク	ヤマモ	クハ	ハク	針葉樹	松
百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	百本ニ付	拾五錢以内	拾五錢以内
																六拾錢以内	六拾錢以内

第九條 左記各樹ノ一ニ當ルトキハ其補助率ヲ減シ又ハ補助ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一、本規程又ハ補助許可ノ條件ヲ遵守セザルトキ

二、許可ヲ經スレバ植林スヘキ位置又ハ面積ヲ變更シ若クハ増減シタルトキ

第十條 補助ノ許可ヲ受ケタルモノハ着手及終了月日ヲ豫定シ着手豫定ノ日ヨリ少ナクモ二十日

備考

一、公共團體ニアラサルモノ、出願ハ願文中初頭ノ括弧内ノ十字ヲ削ルコト
二、願書ニ添付スヘキ關係書

(ロ)X(イ) 公共團體ノ出願ニアリテハ其決議書
經費收支豫算書

但シ共同團體ニアラサルモノハ支出豫算書

豫算式ハ郡及町村役場ニ於ケル所定ノ式ニ據リ其經費同年度ニ跨ルモノハ二ケ年繼續費
ノ手續キテ以テ調査スルヲ要ス

現地及附近見取圖

植樹スヘキ部分ノ實測圖

(ハ)X(ニ) 自己所有ニアラサル山野ニ植樹スルモノニアリテハ地上權設定契約書ノ豫定書

第二號樣式

植樹地實測圖

(用紙美濃紙一枚ニ臨ムヘシ)

町村大字地番

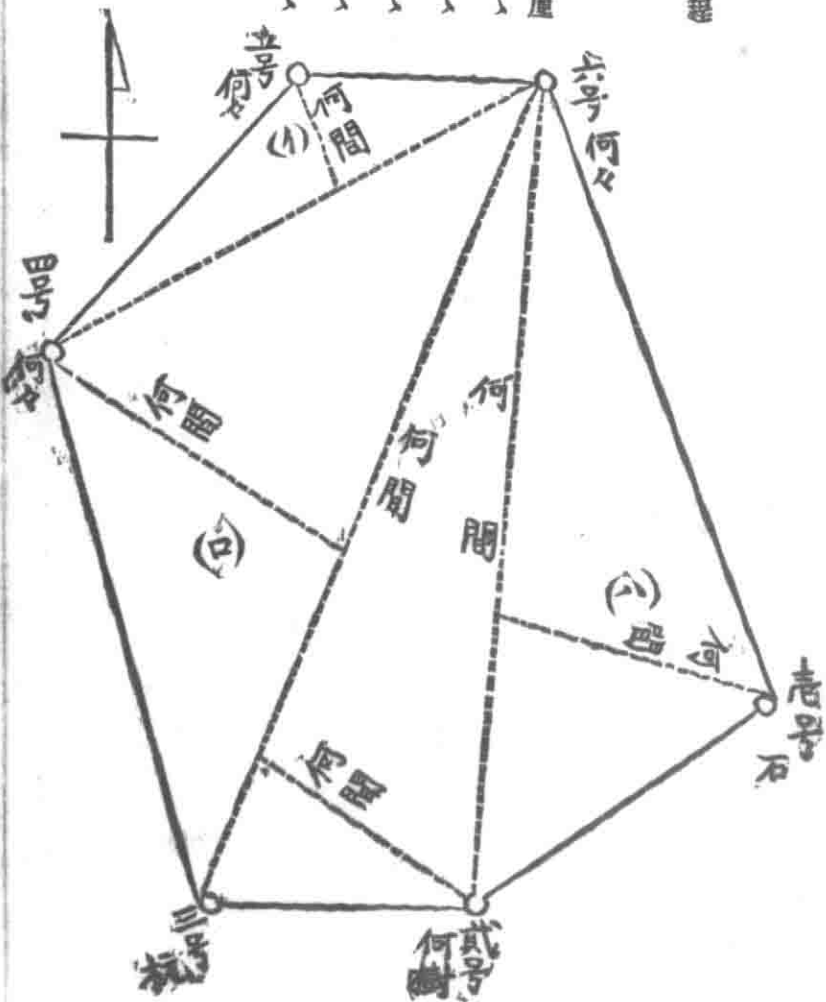
草山臺帳面積何程

此實測面積何程

面積計算

坪分厘

計 (一) (二) (三)
 此二除
 此取別何程



界標及距離

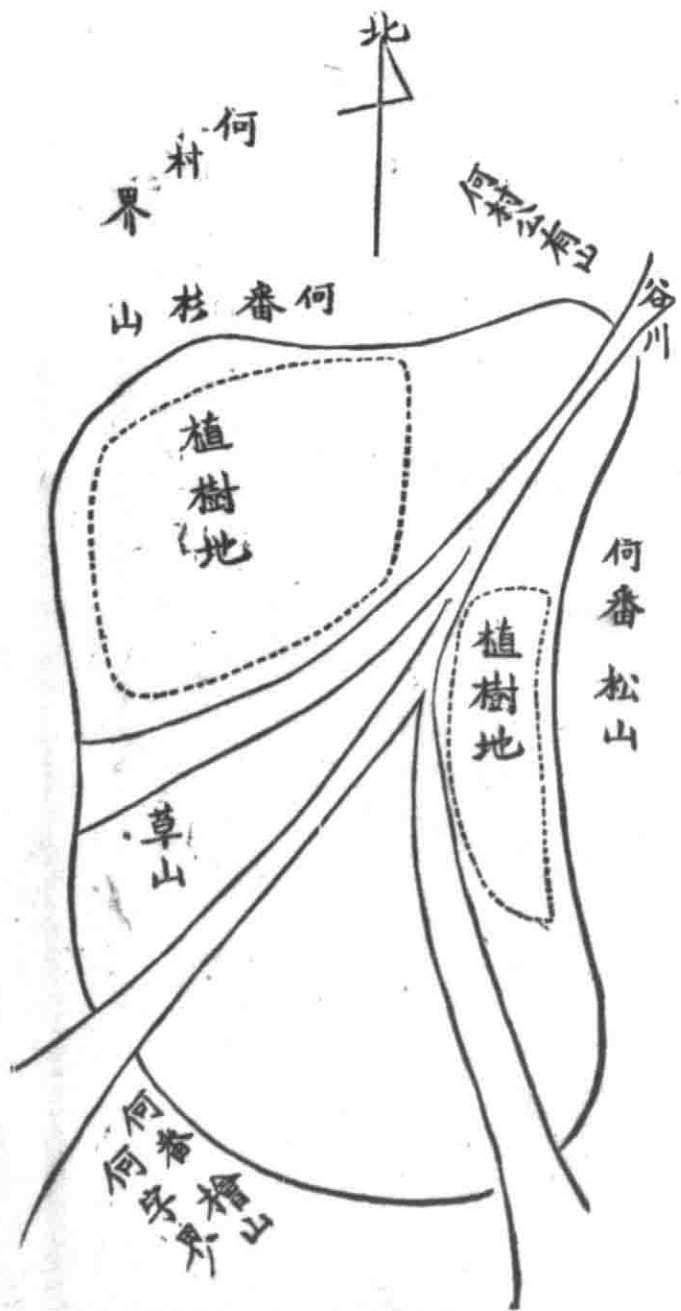
第一號標 何々
 第二號標 何々
 第三號標 何々
 第四號標 何々
 第五號標 何々
 第六號標 何々

此間 何間
 此間 何間
 此間 何間
 此間 何間
 此間 何間
 此間 何間

(第何號標何々トアルハ天然石、大樹、枕等ヲ明示スヘシ)

備考

- 一、一筆内二個所以上ニシテ各別ニ圖面ヲ撰スヘシ
- 二、一箇所二種以上ノ樹種ヲ植付ルトキハ左記ノ如ク區別シ面積計算モ各別ニ記入スヘシ



第三號模式

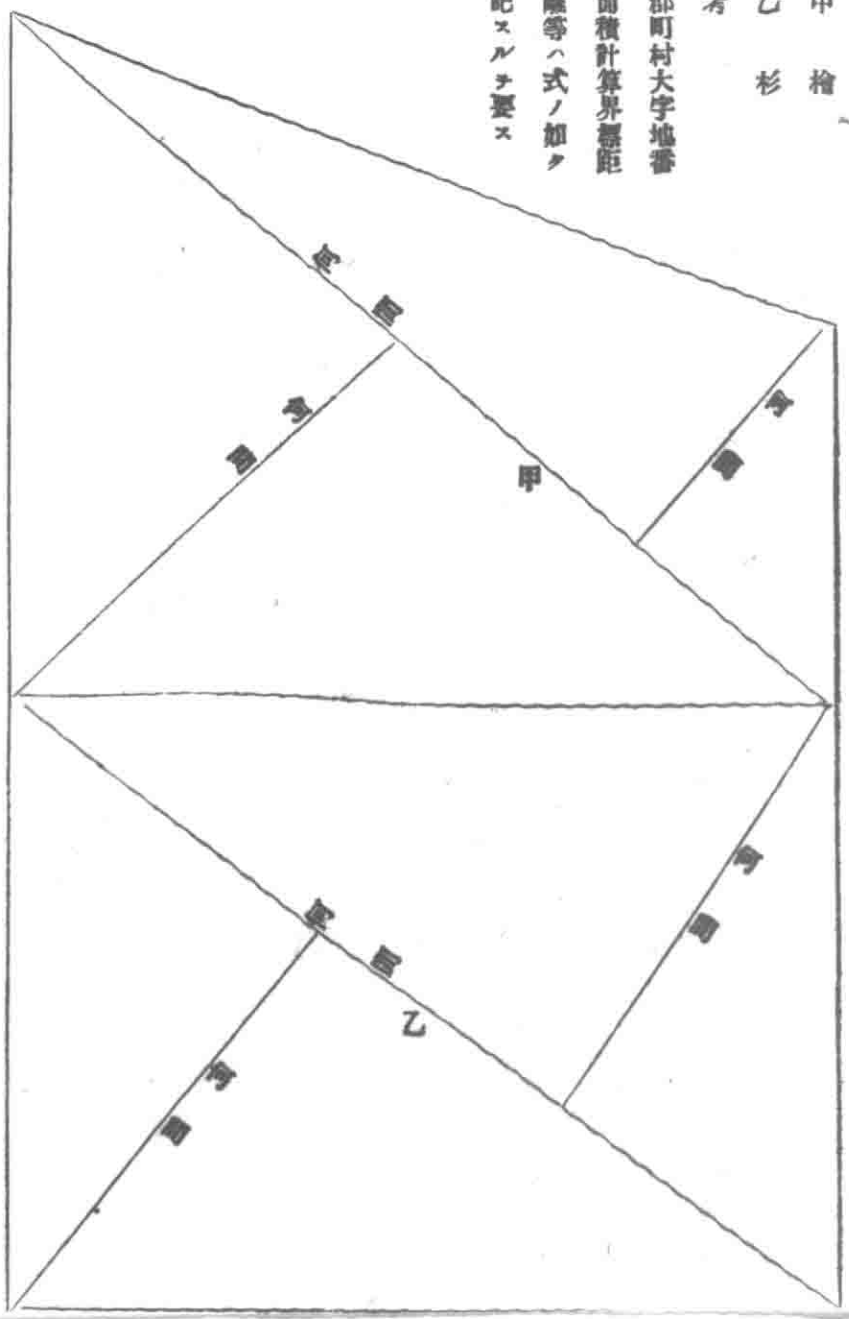
植樹地見取圖

(用紙美濃紙・膠土へ)

何那町村又ハ大字何々ノ内字何々何番地

備考
 郡町村大字地番
 面積計算界距離
 離等ハ式ノ加テ
 記スルヲ要ス

甲 檜
 乙 杉



備考

- 一、出願スル一筆地區ノ界線及植樹スヘキ界線ヲ明瞭ニ爲スヘシ
- 二、一ヶ所二種以上ノ樹種ヲ植付ル場合ニハ左ノ如ク區別スヘシ
- 三、郡村大字其他式ノ如ク記スヘシ



第四號様式

營林及伐木其ノ他保護ニ關スル施業書

將	個所	何郡何村何字何番地
來	實測面積	何拾何町何反何步

縣報第六百二十四號

明治卅九年十二月廿一日

第三種郵便物認可

施業要略

手入	新植后何年目迄手入施行
間伐	新植后何年目ニハ初メテ間伐何割或ハ何本二回三回モ又之ニ準シ記スル
保護	火災ヲ防禦スル爲メ二間以上十間以下ノ防火線ヲ設備シ其他虫害鳥獸害ニ對シテ何々
伐期	杉何年松何年扁柏何年樺何年等

○和歌山縣告示第二百六十九號

左記ノ者小學校教員無試験檢定ニ依リ各頭書ノ教員免許狀ヲ授與セリ

明治三十九年十二月十九日

和歌山縣知事

伯耆

清

榎

家

敬

和歌山縣平民

木村龜之進

慶應二年十二月生

和歌山縣平民

朝倉善禮

同上

同上

和歌山縣平民 北林 信之助 明治三年五月生

同上

和歌山縣士族 寺岡 英 曾 明治二年十二月生

尋常小學校本科正教員

和歌山縣平民 中牟 田 貞 安政五年三月生

同上

和歌山縣平民 有本 專 松 明治十五年一月生

同上

三重縣平民 駒田 芳三郎 元治元年三月生

同上

和歌山縣平民 北條 喜九丸 明治二年十一月生

元治元年七月生

同上

和歌山縣平民 岡田 恒 楠 慶應三年二月生

尋常小學校准教員

和歌山縣平民 島 しのぶ 明治十七年五月生

同上

和歌山縣平民 原 茂 文久三年五月生

同上

和歌山縣平民 尾上 正義 明治十七年九月生

同上

和歌山縣平民 小松 安吉

同上

和歌山縣平民 安部 湛 英 明治八年二月生

○和歌山縣告示第二百七十號

積牛去勢實施獎勵規則別冊ノ通相定明治四十年一月一日ヨリ施行ス

明治三十九年十二月十九日

和歌山縣知事 伯爵 清 藤 家 敬

(別紙)

積牛去勢實施獎勵規則

第一條 積牛去勢ハ本則ニ依リ當願ニ於テ之ヲ施行ス

第二條 去勢ノ施術ヲ受ケントスルモノハ別紙様式ニ據リ所管町村役場及郡市役所ヲ經テ當願ニ申請スヘシ

第三條 當願ニ於テ前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ左ノ區別ニ依リ其ノ施術ヲ行フ

但時宜ニ依リ臨時之ヲ行フコトアルヘシ

一、一月ヨリ六月迄申請書ヲ受理シタルモノハ七月以後

二、七月ヨリ十二月迄ニ受理シタルモノハ翌年一月以後

第四條 前條許可ノ場合ニハ其ノ施術場所及月日ヲ指定ス

第五條 左ニ掲ケタルモノハ施術ヲ行ハス

一、種牡牛ニ適スヘキ見込ノモノ

二、年輪不適當ナルモノ

三、虛弱ナルモノ

四、其ノ他施術ニ不適當ト認ムルモノ

第六條 去勢施行ヲ受ケタルモノハ獎勵ノ爲メ一頭ニ付金五拾錢ヲ交付ス

群報第六百二十四號

明治廿九年十二月廿一日

第三種郵便物認可

第七條 當願ニ於テ施術スヘキ頭數ハ毎年十二月中ニ告示ス

但前條補助金ノ交付ヲ受ケタルモノハ本文ノ制限ニ拘ハラズ施術ヲ行フコトアルヘシ

様式

積牛去勢施術申請

一何種牡牛 壹頭 但何年何月生

一何種牡牛 壹頭 但何年何月生

右去勢ノ施術ヲ相受度候付御施行相成度万一斃死其ノ他ノ事故ヲ生スルモ何等故障不申立候候

テ此段申請候也 但去勢終了ノ上ハ明治何年告示第何號積牛去勢實施獎勵規則ニ依リ獎勵金御交付相成度候

年月日

郡市町村大字番地

何ノノ 蓋印

知事 處

備考 去勢獎勵金ノ交付ヲ要セザルモノハ但書ヲ其旨趣ニ變更スルヲ要ス

○觀測

明治三十九年十二月十六日ヨリ三日間當地氣象概況

種類	月日	
	前年	本年
平均氣壓	七七三耗八	七六四耗二
平均氣溫	六度二	九度一
最高氣溫	一〇度五	一七度五
最低氣溫	一度五	三度一
最多風向	北東	北東
平均風力	三米〇	四米三
天氣	晴	曇
雨雪量	〇耗一	一耗三
記事現象	夜半海上風雨ノ警 戒ヲ解除ス	午前一時半海上風雨ノ警報到着
		終日降雨
		早朝微雨
		午前降雨
		夕刻海上風雨ノ警
		戒ヲ解除ス
		陸風雨北
		午後九時半海上風雨夕刻海

縣報第六百二十四號

明治卅九年十二月廿一日

第三種郵便物認可

十六終

		黃昏微雨	
	着	/警報到	
			ス
			ニ警報到
		午前月曇	
		ナ映ア午	
		后少雨	

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日回發行)

明治三十九年十二月二十日印刷
明治三十九年十二月廿一日發行

〔定額代價〕
金壹圓

和歌山縣

和歌山市長保町一丁目一番地
和歌山市長保町一丁目二十四番地
和歌山市長保町一丁目二十四番地
和歌山市長保町一丁目二十四番地